

# まあるいまち みのかも

【美濃加茂市の将来像】10年後のあるべき姿

10年後の美濃加茂市はこんなまちでありたい！多くの市民の皆さんの思いを託して「美濃加茂市 第5次総合計画」が完成しました。

そして、その10年後のあるべき姿を『まあるいまち みのかも』としました。

みんなが『まあるい わ』のように、協力していけたらとの願いを込めています。

まちづくりの主演は、市民の皆さんや地域の団体、企業、教育研究機関、市役所など地域を構成している「みんな」です。地域の特性や資源を生かし、協働し、役割分担することによって、「何を、いつまでに、どのような状態にするのか」といった成果目標を掲げました。

つまり、今回の第5次総合計画は、5つのまるの「それぞれの施策」には、このような状態にしたいという「目標の数値」を掲げ、具体的に行動できるように工夫しました。

それでは、『まあるいまち みのかも』を目指すための5つのまるの主な内容をご紹介します。

※美濃加茂市第5次総合計画の要約版を、12月初旬に皆さんに配布する予定です

※美濃加茂市第5次総合計画についての詳細な内容は、市ホームページでご覧になれます

問 行政経営課 内線 246

## みんなの「まる」

## みんながそれぞれの役割をもって、誰もが活躍できるまちづくり

市民の皆さんや地域の団体、企業、教育研究機関、市役所などまちづくりを担う誰もが主役となり、それぞれの意識や文化の違いを理解し合い、互いにまちの将来像を共有します。

そして、その達成に向け、各地域の力を最大限に活用して、みんながそれぞれの役割をもったまちづくりを進めます。

そのために、次の施策を進めます。

- ◎情報共有の推進
- ◎市民参加の充実
- ◎学習機会の充実
- ◎地域の団体・NPO 活動の活性化
- ◎協働の仕組みづくり
- ◎コミュニティの再生

### ひとつの成果目標の例

- ◎コミュニティの再生 では
  - ◇自治会加入率
  - 現状値…60.6% (H20年度)
  - ▼
  - 目標値…80.0% (H31年度)



▲自治会でクリーン作戦に参加

## 市役所の経営方針

市役所は、職員や組織、税金などの経営資源を効率よく活用して、最大の成果を上げなければなりません。地方分権改革の推進や財政状況が厳しさを増している中、地域間競争に生き残り、将来もずっと輝き続けることができるまちをつくるため、市役所は協働の視点に立って、総合計画を着実に推進していきます。

そのために、次の施策を進めます。

- ◎職員の経営能力の育成
- ◎組織・機構の改革
- ◎行財政改革の徹底
- ◎目標管理と評価による改善
- ◎連携による都市機能の役割分担

### ひとつの成果目標の例

- ◎行財政改革の徹底 では
  - ◇起債残高
  - 現状値…452億円 (H20年度)
  - ▼
  - 目標値…300億円以下
  - (H31年度)



▲空から見た美濃加茂市